

令和7年度（令和6年度分） 指定管理者評価表【基本事項】

1. 指定管理施設及び指定管理者概要

施設名称		周南市立徳山駅前図書館				所管課	中央図書館		
所在地		周南市御幸通2丁目28番2							
設置年月日		平成30年2月3日					☎ 22 - 8682		
設置目的		図書館法第2条第1項に基づく図書館として、同法第3条に規定する業務を行うとともに、中心市街地における賑わいと交流の場を創出することにより、活性化を図る。							
施設概要		周南市徳山駅前賑わい交流施設内 鉄骨造3階建 図書館部分延床面積 2,374.05㎡							
指定管理者	名称	カルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社							
	代表者	代表取締役社長兼CEO 高橋 誉則							
	所在地	大阪府枚方市岡東町12番2号							
	連絡先	電話	0834-34-0834		E-mail	@			
		ホームページアドレス		https://shunan.ekimae-library.jp/					
指定期間		令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日					年数	5 年間	
募集方法		公募			料金制度		利用料金		
指定管理の主な業務		(1)図書館法第3条の規定により実施する事業に関する業務 (2)図書館の利用に関する業務 (3)図書館の施設及び附属設備の維持管理に関する業務 (4)その他必要と認める業務							

2. 施設の運営状況

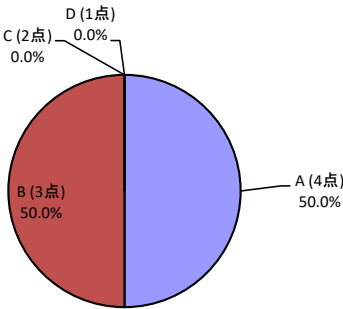
目標管理	目標指標名		年 度	R 6年度	R 7年度
	①	延べ貸出利用者数（人）	目標値	100,000人	100,000人
			実績値	103,555人	—
	②		目標値		
実績値				—	
指定管理業務 に係る収支状況	項目		収支計画額（円）		実績額（円）
	収 入	指定管理料	102,793,000		102,793,000
		利用料金収入			
		その他の収入	40,000		17,410
		計	102,833,000		102,810,410
	支 出	人件費	71,456,000		71,265,155
		物件費	16,733,000		16,483,237
		委託料	4,600,000		5,026,828
		その他	10,044,000		9,895,000
		計	102,833,000		102,670,220
	参 考	使用料収入			
		自主事業収入			
		自主事業経費			

令和7年度（令和6年度分） 指定管理者評価表【評価】

施設名		周南市立徳山駅前図書館	
指定管理者名		カルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社	
評価項目	評価事項・不適切事項等		評価
目標の達成状況	乳幼児や子供を対象とした季節の行事に合わせたお話会の実施や、毎回異なるテーマを決め、誰でも参加できる、本を読むための空間提案を実施するなど、魅力ある企画を数多く開催し、延べ貸出利用者数は目標値を上回っている。		A
体制・人事	司書比率を計画の50%に対し、70%以上配置する事で図書館サービスの充実を図っている。また、選書やレファレンス研修、手話やコンプライアンス研修、情報セキュリティ研修など多数の研修会へ参加し、職員の資質向上が図られている。		A
業務の運営	計画通り図書館運営が行われている。		B
施設の維持管理（衛生・美観）	市内外、県外からも多くの方が来館する中、館内外の清掃やメンテナンスを日々行うことで環境美化が保たれている。また、地域清掃活動へも積極的に参加し、図書館エリアのみならず、駅前広場全体の環境美化に貢献している。		A
施設の維持管理（点検・修繕等）	定期的に点検を実施し、不具合箇所が発見された場合も、迅速かつ適正に対処されている。		B
緊急時の対応	市や警察等の関係機関と平時より連携を図り、有事の際にはその都度適切な対応をとると共に、逐次報告を行っている。また、消防避難訓練等を実施するなど緊急時に対応できる体制づくりを整えている。		B
サービス向上 自主事業	地域の人材を活用した講座の開催や、全国的に展開する独自の事業から培ったネットワーク、ノウハウを活用した多彩なイベントの開催により、参加者の増加に繋がっている。 施設の利用実態を分析し、世代や利用の目的やニーズに合わせた館内のレイアウト変更を行い、利用者満足度は向上している。		A
P R・情報提供	定期フリーペーパー、SNSを活用した街の情報やイベントの情報発信、人にフォーカスした特集や図書館の利用方法を分かりやすく告知するなどの積極的な情報発信をはじめ、伝えたい情報を直観的に得られるようホームページのリニューアルを行うなど創意工夫を行っている。		A
苦情(要望・意見)への対応	苦情やトラブル事案に即時適切に対応し、市への相談・報告、職員間での「報告・連絡・相談」が徹底され、情報を共有している。		B
情報共有	市への相談・報告が徹底され、情報を共有している。		B
利用者満足度調査	施設の特性に対応した適切な調査を行うとともに、利用者層や時代の変化に応じ適宜内容修正を行なっている。調査結果の分析を行い、運営に反映させるなど着実に進めており、満足・大いに満足の回答が全体の84.5%を占め、高い水準を保っている。		A
収支状況	物価高騰による人件費や資材費の値上げの影響を受けつつも、経費削減に努めながら適正に実施されている。		B
経理事務の状況	指定管理業務の経理と他の経理が混合されることなく、適正に管理されている。		B
コンプライアンス	図書館業務で必要とされるレファレンス研修や接客研修や、コーチング研修など、年間20件の研修会が開催され、その研修会内に合わせコンプライアンス研修も行われており、複数回に渡り研修する事で職員の知識・意識の向上が図られている。		A
参加率が高く人気の高いイベントを定期的に開催する事で、利用者・参加者は昨年に比べ増加している。また、不定期イベントでも、民間のノウハウを活用し、読書推進に繋がる多彩な企画を採用する事で好評を得ている。 利用者の満足度調査では、満足・大いに満足との回答は高い水準を保っており、日々の取り組みが着実に成果に繋がっているが、「借りたい本や資料が多い」「本や資料が探しやすい」の図書資料に関する項目の数値は低くなっており、今後はこの項目への満足度が上昇するよう取り組んで頂きたい。			評価 総合 点 平均
			A 3.5

※4点満点

評価結果の割合



※端数処理のため、評価結果(A～D)の割合の合計が100%にならない場合があります。

項目別評価結果

